

国際共同研究事業 令和3(2021)年度実施報告書

令和 4 年 4 月 28 日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

[日本側代表者所属機関・部局]

国立成育医療研究センター 社会医学研究部

[職・氏名]

部長 森崎菜穂

[課題番号]

JPJSJRP 20211709

1. プログラム名 英国との国際共同研究プログラム(JRP-LEAD with UKRI)

2. 研究課題名

(和文) 新型コロナウイルス流行下における日英の親子の精神的健康とニーズの推移分析から学ぶ

(英文) Learning from the trajectories of mental health challenges for children, young people and parents across Japan and UK over the course of the COVID-19 pandemic: a mixed method analysis

3. 共同研究実施期間

令和 3 年 12 月 1 日 ～ 令和 6 年 11 月 30 日 (3 年 0 ヶ月)

4. 相手国側代表者(所属機関名・職名・氏名【全て英文】)

University of Oxford, Post-doctoral researcher, Simona Skripkauskaite

5. 当該年度実施状況

- ・当該年度実施計画書の「当該年度実施計画の概要」の内容と対応させつつ、当該年度の実施状況を簡潔に記載してください。再委託又は共同実施を行った場合は、それぞれの実施状況がわかるように記載してください。
- ・当該年度又は前年度(複数年契約を締結し繰越を行った場合)の各費目における増減が研究経費総額の 50% (この額が 300 万円を超えない場合は 300 万円)に相当する額を超えた場合は、その理由と費目の内訳を変更しても計画の遂行に支障がないと考えた理由を記載してください。

2021 年度は、2つのワークストリームを開始した。

1.

まず、すでに別財源で実施されてきた 2020-2021 年度の縦断調査情報を用いて、児や家庭の環境とメンタルヘルスの推移との関連に関する解析を開始した。また、コロナ禍の制限度合いに関する尺度 Oxford COVID-19 Government Response Tracker (OxCGRT) Stringency Index([Hale et al., 2021](#))が児の心理社会的状況の推移とどのように相関するかを調べる研究を開始した。これらの分析研究は、研究代表施設に所属する研究者に加えて、再委託先研究施設（東京医科歯科大学、日本体育大学）に所属する研究者とで共同で実施しており、2022 年度も共同で実施予定である。

2.

日英継続調査については、英国側は 2022 年 3 月 27 日に開始し、日本側は 2022 年 4 月 1 日開始に向けて準備を行った。主要評価項目は両国とも、Strengths and Difficulties Questionnaire (SDQ)、Patient Health Questionnaire 9 modified for adolescents (PHQ-A)、Depression, Anxiety, Stress Scale (DASS-21) である。

またワークストリーム 3 に向け、パンデミックでの経験を振り返り、社会がこどもたちのために出来たらよかったことについての自由記述情報を、別財源で発送・収集等を行った 2021 年度調査 (2021 年 12 月実施) に追加する形で収集した。得られた回答について、分析に向けたデータ整備 (データ入力等) を行った。

7. 研究発表(当該年度において本共同研究の一環として本事業による支援を受けたことを明示して発表したものについて記載してください)

[雑誌論文] 計(0)件 うち査読付論文 計(0)件

通 番	共 著 の 有 無 ^{*1}	著者名、論文標題等 ^{*2}
1		
2		
3		

[学会発表] 計(0)件 うち招待講演 計(0)件

通 番	共 著 の 有 無 ^{*1}	発表者名、発表標題等 ^{*2}
1		
2		

[図 書] 計(0)件

通 番	共 著 の 有 無 ^{*1}	著者名、著書名等 ^{*2}
1		

*1 相手国側参加者との共著(共同発表)がある場合は○と記入。

*2 当該発表等を同定するに十分な情報を記載すること。例えば学術論文の場合は、著者名、論文標題、雑誌名、巻号、発行年(西暦)、最初と最後の頁、掲載論文の DOI、学会発表の場合は発表者名、発表標題、学会等名、発表年(西暦)、発表地(国名、国外開催の場合のみ)、図書の場合は著者名、著書名、出版社名、発行年(西暦)、総ページ数、ISBN、など(順番は入れ替わってもよい)。相手国側参加者との共著となる場合は、著者名が複数であっても省略せず、その氏名を記入し下線を付すこと。

*3 足りない場合は適宜行を追加すること。

8. 本事業による産業財産権の出願・取得状況(当該年度に出願又は取得したもの)

[出 願] 計(0)件

通 番	産業財産権の名称、発明者、権利者、産業財産権の種類、番号、出願年、国内・外国の別
1	なし

[取 得] 計(0)件

通 番	産業財産権の名称、発明者、権利者、産業財産権の種類、番号、取得年、国内・外国の別
2	なし

* 必要に応じて、欄を追加してください。